

《連携事業活動報告》

今年度の岩槻児童センター

との連携事業

本会では会員の社会貢献を促すために、対外連携・支援部会を立ち上げ、学校や地域との連携を模索してきましたが、今年度から岩槻児童センターとの連携事業を開始しました。きっかけは年度当初、新里会長が児童センターの小久保館長と同席した際、児童センターでは外部の人材を積極的に受け入れて事業展開していることを知り、役員会で話題にしたことでした。

早速対外連携部会のメンバー等で見学に向き、所長はじめ職員のお考え方や積極的な姿勢に共感できました。そこでこれを事業実施の絶好の機会ととらえ、事前の検討を重ねて、夏休みから連携事業を実施しました。

◎ 夏休みに実施した事業

① 昆虫写真展 『さいたま市内で見られる

夏・躍動する昆虫たち』

7月1日～9月10日（担当 大河内会員）

タイトル及び26種の昆虫の生態写真と解説を展示する。

② ピックリ！実験ショー 『空気のはしぎ』

8月22日（担当 大河内会員）

空気の熱変化、大気圧、風の作用、酸素の性質などを実験を通して知り、最後に傘袋ロケットを自作して飛ばす。

③ 竹細工教室 『四海波花かご作り』

8月23日

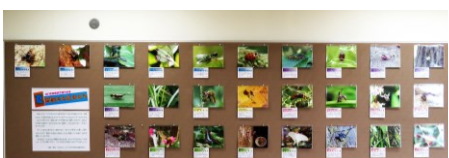
（担当井上会員）

細く割かれた竹を編んで花かごを作る。

④ 『ジャコウアゲハの生態展示』

8月（担当林会員）

水槽に入れた幼虫と



昆虫の生態写真の展示



熱気球が膨らむぞ



昆虫写真展タイトル



うまく的に入ってくれ



まず竹を準備しました



力でゴム板を剥がせるか



ペットボトルが浮いている

蛹を飼育状態で展示し、変態の様子を観察し、羽化したチョウを放蝶する。

◎ 冬休みに実施した事業

① くプラネタリウムドームでゆったり

昆虫の世界をのぞいてみよう

『びっくりーきれいー昆虫の世界』

12月24日 (担当 大河内会員)

昆虫の写真やドームに投影して、擬態などの生態の解説やエピソードの紹介をする。

② 竹細工教室『よく飛ぶ竹トンボを作ろう』

12月25日 (担当 井上会員)

羽根をデザインしてから、火で曲げたり芯棒を取り付け、最後に広い部屋で飛ばしてみる。

③ 書き初め教室

『上手になる書き初め教室』

12月27日

(担当 岡野会員)

冬休みの課題になっている書き初めの上手になるポイントを知り、練習を重ねて学校に提出する作品を仕上げる。



ドームへようこそ



焦がさないように



まずは練習から



上達のコツを教えます

④ ビックリ！実験ショー『おもしろ静電気』

1月6日 (担当 大河内会員)

静電気の性質や利用について、実験を通して知る。また、参加者が静電気を体験し、静電気の性質を利用した遊びを行う。



遠くへ飛んでいけ



空き缶が転がるかな



百人おどしてびっくり

◎ 春休みに実施した事業

① 昆虫写真展

『さいたま市内で見られる春のチョウたち』

3月23日～5月15日 (担当 大河内会員)

② 竹細工教室『竹のリングを作ろう』

3月26日 (担当 井上会員)

③ 昆虫教室 くスライド投影とお話

『モンシロチョウのひみつ』

3月29日 (担当 萩原会員)

④ ビックリ！実験ショー

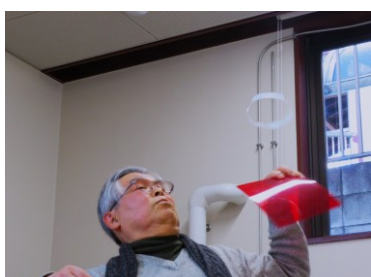
『笛って何？笛を作ろう』

4月2日 (担当 大河内会員)

(文 副会長 大河内哲二)



帽子のリボンが立ったよ



④ レシ袋の輪が浮いている